

学校推薦型選抜

小論文

1. 指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・フリガナを記入しなさい。
3. この問題冊子の不ぞろい等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に申し出なさい。
4. 解答時間は60分です。
5. 試験終了まで、受験者の退出は認めません。

問題 次の課題文を読み、問に答えなさい。

これまで中流層が引き受けていた肉体労働の多くをロボットが肩代わりするようになったら、平凡な労働者は不要になるというのがここ数十年の通説だった。一方で、高度なスキルを持つ専門職は、デジタル技術を活用して仕事の生産性を高めるだけでなく、インターネットを介してより広い市場に進出し、専門サービスを世界に輸出できるようになるとみられていた。だが生成人工知能（AI）の出現によりこの通説は覆され、平均的な労働者に復活の可能性が出てきた。

AI導入に伴う労働市場の変化を理解するには、この技術が実際にどう働くかを詳しく見る必要がある。いわゆるビッグデータに依存すると、大規模言語モデル（LLM）^(注1)のアウトプットはインターネット上で見られる平均的な質と同等になりがちで、卓越した質は期待できない。つまり明らかに、LLMの現在の学習方法は、平均的なコンテンツが生成されるよう設計されている。

この状況は将来の労働市場にとって何を意味するのだろうか。簡単に言うと、能力の低い労働者が大きな恩恵を受けることになる。現時点のAIのおかげで彼らは平均的な基準に到達できるようになったからだ。

例えば米マイクロソフト傘下のギットハブが提供する、ソフトウェアのコード作成を自動化するサービス「Copilot（コパイロット）」の出現でソフトウェア開発は様変わりし、作業時間が56%も短縮された。意外にも最大の受益者はベテランではなく、作業効率が飛躍的に高まった未熟練の労働者だった。

オープンAIのChatGPTも文章作成の生産性向上に寄与するが、米マサチューセッツ工科大学（MIT）の調査によると、恩恵を特に受けるのは文章力の乏しい書き手だという。

これらは、AIから最も多くを得るのは高度なスキルを持つ専門職だという従来の常識を覆す。むしろ取り残されていた労働者に機会を与え、成長産業へのアクセスを平等化する効果が期待できることを示した。

ただしこの変化が労働市場に破壊を引き起こさないとは言えない。米ウーバーテクノロジーズ^(注2)がタクシー業界に与えた衝撃が良い例だ。全地球測位システム（GPS）の登場で、かつてはタクシー運転手に必須だった都市部の道路事情に関する知識の重要性が薄れた。さらにウーバーの国際事業展開に伴い、平均的なドライバーに活路が開けた。

ウーバーは雇用機会を減らしてはいないが、競争を激化させて既存のタクシー運転手の収入を減らした。生成AIは多くの職業で参入障壁を引き下げる役割を果たし、同様の効果をもたらすだろう。

生成AIは直ちに多様な産業で失業を引き起こすわけではないが、タクシー運転手の抗議に見られるように猛反発を招く可能性はある。ウーバーへの抵抗はおおむね失敗に終わったが、政治力の大きい高度なスキルを持つ労働者を生成AIが直撃したら、抵抗が奏功する可能性は高まる。低スキル労働者に打撃を与えたかつての自動化とは異なり、AIへの社会的・政治的反発はもっと強力になるだろう。その傾向はAI規制を求める動きに既に表れている。

確かにプライバシー侵害や偽情報など、AIを規制すべき理由は十分にある。だが問題は技術の進歩がエリート層の所得と影響力を脅かし始めた時、彼らが進歩を阻もうとし、自分たちの地位の安泰を図るような規制を練り上げることだ。AI規制が、普通の労働者を犠牲にして既存企業を競争から守るようなことがあってはならない。

(注1) 言語を理解し生成するAIの一種で、質問応答や文章生成などに対応している。

(注2) タクシーの配車プラットフォームである「Uber（ウーバー）」アプリを提供している。「Uber（ウーバー）」はスマホを通じてタクシーと乗客をマッチングさせるためのアプリである。

【日本経済新聞】2023年7月20日版（デジタル版、一部改変）

問 ①AIが高度なスキルを有する労働者と、平均以下のスキルを有する労働者に与える影響はそれぞれどのようなものであろうか。そして、②AI技術それ自体をどのように評価すべきか。課題文の内容を踏まえ、①、②について800字以内で自分の意見を述べなさい。

問題はここまでです